



わたなべ正博 通信



No.143

2017年5月

- ①日本国憲法
- ②連休 Photo
- ③2017年度上下水道新規事業
- ④トンネル無料化

mail : masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】《部内資料》

憲法をめぐる日本
の進路が真正面から
争われる時代がいよいよ
やってきた

● 憲法第9条改正と2020年の施行を目指す

安倍首相は「いよいよ機は熟してきた」日本国憲法の施行70周年という、この節目の年に必ずや歴史的な一歩を踏み出す。

憲法第9条改正と2020年の施行を目指す考えを表明し、在任中の改憲の実現に強い意欲を示しました。

● 「朝鮮半島危機・安倍一強、今ならやれる」と「任期中に道筋を付けたい」

安倍首相は、現行9条の1項と2項をそのままに、新たに自衛隊の存在を明記する3項を付け加えることを明らかにしました。

一種の勝負に出たわけですが、少なくとも、このような勝負に出ざるを得なくなったのは、「朝鮮半島危機によって国民の不安が高まり」と「安倍一強」の今ならやれるかもしれないと

いうおごりと、任期中に何としても道すじをつけたいという焦りの両方の現れでしょう。

● 野党を分断して一部を引き寄せるための狙い

昨年7月の参院選が終わったところに、安倍首相は「9条3項に自衛隊を明記したい」と漏らしていたそうです。今回表明した構想は、その頃から表明のタイムラインを探っていたことになりました。

この構想は公明党の主張する「加憲」の発想に近いものです。民進党内にもこのような考え方があり、そこから、そこに一石を投じたのでしよう。

高等教育まで含めた教育費の無償化は日本維新の会が主張しています。これも、野党を分断して一部を引き寄せるための狙いに基づくものです。

● 全く「機は熟して」いません

安倍首相のいう「いよいよ機は熟してきた」というのは、9条に関する限り、真つ赤な嘘です。

憲法そのものについても、変える必要があるという意見は過半数を上回っていません。

「毎日新聞全国世論調査では、憲法を改正すべきだと「思う」という回答は48%、「思わない」は33%で、憲法第9条に関して改正すべきだと「思わない」が46%で、「思う」の30%を上回っています。共同通信社の世論調査では、日本が戦後、海外で武力行使しなかつた理由について「9条があつたからだ」とする回答は75%に上り、9条改正については必要49%、必要ない47%、安倍晋三首相の下での改憲に51%が反対し、賛成は45%でした。」

わたなべ正博のノート

- 1日 第88回メーデー
- 2日 ● 農業政策議員連盟役員会
- 3日 ○ 市議会議員と懇談
- 4日 堰払い
- 5日 ● 上田駅前宣伝「憲法記念日」
- 6日 ● 下之郷水土里「計画策定会議」
- 7日 焼き肉会
- 8日 叔母「キヨ」の米寿のお祝い会
- 9日 モルティー塩田街演
- 10日 浅間池水神祭
- 11日 上田駅前モーニングスピーチ
- 12日 ● 見舞い
- 13日 雑木切り「立ち会い」
- 14日 ● 上田地域党議員団会議
- 15日 党全県議員会議
- 16日 ● 塩田地区水神祭
- 17日 生活相談「医療センター」
- 18日 ● モルティー塩田街演
- 19日 ● 東塩田地区振興会総会
- 20日 上田駅水車前「井上哲士」街頭演説
- 21日 党市議団会議「質問決定会議」
- 22日 6月議会一般質問準備
- 23日 ● 議員懇談会「長野大学」
- 24日 ● 国賠同盟役員会
- 25日 党と後援会ブロック会議「上越」
- 26日 柳町発酵まつりシンポジウム
- 27日 上田駅モーニングスピーチ
- 28日 ● 党市議団会議
- 29日 東塩田自治連役員会
- 30日 クレサラ実行委員会
- 31日 質問準備
- 1日 ← モルティー塩田街演
- 2日 ● 定期検診「生協診療所」
- 3日 議会運営委員会「質問受付開始」

【6月5日（月）6月議会開会】

【5月】
(5月10日現在)

くらし・困りごと
なんでも相談
メールOK
気軽に声をかけてください
090-1554-2698

安倍首相の発言とは逆に国論は割れていて、全く「機は熟して」いません。このような世論状況も、安倍首相の焦りを生む一因だと思います。

●日本の進路が真正面から争われる時代へ

私たち国民からすれば、安倍首相によって挑戦状をたたきつけられたようなものです。戦後の平和国家としての歩みを転換することへの是非を問われているわけです。

憲法をめぐる日本進路が真正面から争われる時代が、いよいよやってきたということになります。これにどう答えるべきかが、今後の選挙で一貫した争点となるにちがひありません。



5月3日憲法記念日（JR上田駅前）
左から高村県議・渡辺・久保田・古市・成瀬各上田市議

上田市の人口

人口統計表	
5月1日現在	
総人口	158,854人
男	77,815人
女	81,039人
世帯数	67,095戸

毎月市役所一階受付の壁に掲示されます。
今月5月は158,854人
先月4月は158,881人
昨年5月は159,367人

「8時間働いたら帰る・喜らせるワークルールを」第88回上小地区メーデーがやぐら下芝生公園で雨の中開催された。



年に3回揃いますが・・・独身・・・

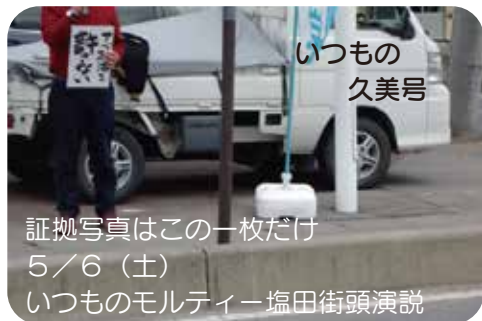


輝理・由紀子・翔太・正博・和馬

連休 Photo



天下山マレットゴルフ場（上田市塩川）



証拠写真は一枚だけ
5/6（土）
いつものモルティエ塩田街頭演説



同居している叔母「キヨ」米寿のお祝い
何度も何度も「ありがとう・ありがとう」と繰り返すおばちゃんでした。



「ほらおばあちゃん写真撮るよ」（輝理）
今年93歳になる母「露子」は食欲あります

2017年度新規事業

「産業水道委員会所管」

（前号につづき）

○上下水道事業費「水道・公共下水道・農業集落排水」（168億円余）

＊水道「新規事業」…平成26年度に真田地域の菅平上水道他8つの簡易・専用水道を統合し真田上水道とし、平成29年度は丸子上水道、丸子地域の簡易水道、上田市一部の簡易水道を統合して上田市水道に統合し、結果15の各水道事業が上田市水道となりました。
今後の構想として・真田地域から上田地域への水運用、武石地域から丸子地域への水運用、須川地域の給水を上田地域から丸子地域に変更。

＊下水道「新規事業」…丸子地域の3地区の農業集落排水施設の公共下水道への統合に地元合意が出来たので、認可変更業務を実施する。統合には今後5年かかる。尚農業集落排水施設26の内8施設の統合は難しい。

＊農業集落排水「新規事業」…供用開始から20年以上経過した施設の修繕と更新等の検討を行う「農業集落排水処理施設機能強化事業」で、機能強化詳細設計を岡処理場。劣化度診断調査を岡、本原南、本入処理場で実施する。

耳寄り情報
トンネル無料化

- ＊平井寺 平成30年8月25日から
- ＊三才山 平成33年6月10日から
- ＊新和田 平成37年3月30日から



5/21でお酒の休止10年
子どもたちからの贈り物
「満寿」さてどうするか・・・

上田市長・市議会議員選挙は、来年（2018年）3月末（18日または25日）投票で行われます。